

安心安全な京都づくりを支える 治水対策の推進について

【担当省庁】国土交通省

〔淀川水系〕

- 最優先の課題である桂川の治水安全度の向上に向け、流域治水の考え方を踏まえ、河道掘削等の河川改修を更に推進するとともに、一の井堰改築に早期着手し、完成後の運用についても積極的に関与いただきたい。
- しなで科手樋門（木津川）など、浸水実績を踏まえた樋門の新設・増強について、検討し実施していただきたい。
- 川上ダム建設事業（令和4年度完成予定）の早期完成と天ヶ瀬ダムを最大限活用可能な運用について検討していただきたい。
また、たいてい大戸川ダムについては、費用や効果を検証しつつ事業を進め、費用の縮減を徹底していただきたい。

〔由良川水系〕

- 頻発する浸水被害の解消のため、河川整備計画に基づいた河川整備を切れ目無く進めていただきたい。
また、平成29年台風21号、平成30年7月豪雨では、内水氾濫による浸水被害が発生したことから、本川の河道掘削、支川改修、ポンプ施設整備等の国・府・市等の連携による取組を支援強化していただきたい。

【現状・課題等】

- 淀川三川で最も治水安全度が低い桂川直轄区間の改修促進は喫緊の課題であり、特に嵐山地区の改修は、上流の府管理区間の改修にも大きく影響
- 嵐山地区の改修のうち、一の井堰改築については、多目的に河川利用を増進する施設であり、操作するには高度な技術を要する。
- 直轄河川の外水対策が進む一方、内水被害が顕在化しており対策が必要
- 令和3年8月に策定された淀川水系河川整備計画（変更）において、大戸川ダムの本体工事実施が示された。

京都府 の担当課	建設交通部 河川課 (075-414-5282)
-------------	--------------------------

【国の事業等】

■概算要求〔国土交通省〕

- ▶ 治水事業 9,894億円（令和3年度予算8,367億円）

【京都府の被害状況】

■京都府の近年の浸水被害状況

		H24 府南部豪雨	H25 台風18号	H26 8月豪雨	H29 台風18号	H29 台風21号	H30 7月豪雨
被害 状況	床上浸水	906棟	1,482棟	1,835棟	130棟	335棟	539棟
	床下浸水	2,378棟	3,326棟	2,716棟	1,119棟	516棟	1,734棟
浸水被害発生河川		弥陀次郎川(天井川)、古川、志津川、堂の川他	直轄由良川・桂川、安祥寺川、四宮川、堂の川、鴨川、桂川他	弘法川、法川、榎原川、大谷川、八田川	相長川、竹野川、小西川、福田川、新庄川、滝馬川、筒川他	直轄由良川、高野川	直轄由良川、高野川、伊佐津川、竹野川、佐濃谷川他

■内水による浸水状況

- ▶ 八幡市街地：床上浸水30戸、床下浸水856戸（平成25年台風18号）
- ▶ 由良川沿川：床上浸水215戸、床下浸水302戸（平成30年7月豪雨）

■洪水時の河川の状況



平成25年台風18号
桂川洪水状況（京都市嵐山）



平成25年台風18号
由良川洪水状況（福知山市河守）